

平成12年1月1日

シルバー

# かわさき

## 第12号

財団法人川崎市シルバー人材センター

川崎市川崎区堤根34番地19

電話 044(222) 1550

# 頌 春

写真：櫻井正雄 事務局長

## 年頭のご挨拶

理事長 大橋 為 宣

新しい千年紀をお祝い申し上げます。皆様にはご清勝にて新春をお迎えのことと拝察して、お慶び申し上げます。当センターの業績は、厳しい経済環境の中ですが、昨年も更に多少ながら上昇しました。これは会員の努力と市民や地域企業および公関係機関のご支援の賜物でございます。

ここに厚くお礼申し上げます。今年も昨年以上に厳しい状況と想われます。しかしながら、会員の培った豊富な経験が市民や企業等からの信頼を増すことが出来ますならば、更なる業績へと結びつくものと信じております。当センターはこぞって生涯現役の一翼を担いながら、併せて、次世代へもなにがしかの貢献を致したいものと存じます。

市民や企業および関係機関の皆様には当センターへも倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶にかえさせていただきます。

## 就業機会開拓専門員が活動

景気の低迷が続く中、国の緊急経済対策の一つとして「シルバー就業機会開発プロジェクト事業」が全国のシルバー人材センターで展開しています。10年度の11年1月から3ヶ月間、引き続き11年度も8月から8ヶ月間

会員の仕事の開拓とシルバー事業の普及啓発活動を行っています。

川崎市シルバー人材センターには9人の「就業機会開拓専門員」が配置され、事業所や家庭を訪問し仕事の開拓に努めています。

本号では「専門員」の訪問時の感想、体験、そしてセンターへの反応等を寄せてもらいました。

成果は即出るものではありませんが、これからの就業拡大につなげら

### 就業開拓業務に携っての所感

南部地区就業開拓専門員 佐々木雄晃

『不況の時にこそシルバーパワーの活用を』

企業等を訪問して力説するのがこの文句である。徹底したリストラで自己防衛を図る企業等に於いても繁忙期や事業の伸展等による手不足は必ずやって来る。そんな時にこそ経験豊かなシルバー人材の出番だと思おうのである。

シルバー人材事業は、臨時的短期的という制約はあるものの、就業形態の

多様化により終身雇用制度が揺らいでいるこれからの労働市場での新しい役割を担って行くものと確信する。この制度については、殆どの市民がその内容を知らないのが実態であるが、訪問説明によって容易に理解し極めて好意的な対応を見せてくれるのがとても嬉しい。開拓専門員としてフロンティアスピリットが一層掻き立てられる。とは云っても即、成約に結びつかないのがなんとも、もどかしい限りである。現状は間に合っているのだから、暫しの辛抱が必要なのかも知れない。

これから少子高齢化が進む中、シルバー人材に対する認識と評価は益々高まると思うが、その地位を確固たるものにする為にも継続的なPR活動は勿論、社会経済情勢に即応した受注体制の確立と、柔軟で多様な戦略の展開を期待したい。

### 就業開拓員になって

南部地区就業開拓専門員 真野繁太郎

新開拓員になって、丁度折返し地点を経過今迄に一般家庭、不動産、寺院、中小企業、冠婚葬祭センター、病院、スーパー等へ回っている。

シルバー人材センターは臨時的、短期的所謂条件付き、増してバブル弾け10年以上の不景気の最中回る先々の反応も厳しいものがある。でも行く先々「川崎シルバー人材センター」の名刺を差し出すと市の外郭団体ですと云われ、好意的に対応して下さい。また押し売りと間違えられたこ

ともある。

受入側は常勤や面接を望む。シルバー人材センターからの趣旨を理解していない。そこで説明するがあと一步と云うところで決まらない例が多い。理解してもらおうには今後の課題が残る。これからは少子高齢化時代、この対応策の一環として(新しいセンター作りに)幼児の一時預かり所を開設、シルバー人材センターの子育てベテラン女性がみるのも一考ではないでしょうか。

今後需要の増える家事援助、介護サービス業者の手の届かない分野の開拓に研究予知が必要となる。これから21世紀に入ると、人と人との触れ合いが生きがいにつながる。

後半は新規と再訪問を交互に、就労開拓に三月の陽春まで頑張ります。

## 就業開拓員になって

南部地区就業開拓専門員 佐々木正昭

就業機会開拓専門員、最初は今迄経験のなかった一種の技能的専門職と思ひ不安の中で説明会、会議、打合せと時間が立つにつれ理解を得る事が出来たものの、この大不況下倒産も多々あり、リストラが社会問題化している中で就業開拓、それも60歳を過ぎた高齢者の就職探しは余程の慎重な計画と厳密な業務方針を作らなければと考えたものである。

小手調べに訪問して見ると、案の定「門前払」間に合ってます」「それで

なくても人が多くて」覚悟はしていたものの厳しい社会情勢を体験し改めて構えを立て直した感があった。訪問先より好意的に福祉話から同情話が出て当シルバーセンターの業務内容やまた、我々の開拓業務体制を話し理解を得る事が多くなった。先方では人材センターを福祉事業、福祉協力、寄附金要請とみていた様子案外シルバーセンターの存在と事業内容が知られていない事に気付いた。

種々訪問する中で私は「シルバー」「老人」「お年寄り」「生きがい」「高齢者」と言う言葉をなるべく使わない様になっている。依頼者側の判断印象をよわらげる意味である。ある依頼者からも言われた事もあり「ヨボヨボプラスお年寄り」の感が強い。しかしシルバーでなければ出来ない仕事が沢山ある事を知り自信を持って訪問しシルバーの特典、特徴を強く表現する事によって対応が好意的となつて行く事を知った。

ただ感じた大きな事は依頼者の要請に対応できる態勢を今一つ考慮すべきではないだろうか。難しい事情山積みの中これからの大きな問題である事を痛感した。



## 就業機会開拓専門員を経験して

中部地区就業開拓専門員 中村耕三

専門員の仕事の委託は二度目である。最初の専門員の経験を活かし効率よく進めたいと思っている。今回は来年三月迄の長期に亘ることからマンネリ化しない様に心掛けるつもりである。その為には、自分自身の頭を切替えることにした。それは、自分の住む街自体をよく知ること。地域社会が「どの様な動きになっているか」の視点で出発することとした。

初めは工場関係先にヒントが得られるかと企業廻りをしたが、今日の不景気のおおりの為、いろよい返事は貰えなかった。ただ工場でも電気、電子関係の職場は比較的明るく、活気が見られた。将来は受注の望みも見受けられた。

次の訪問先の選定は、不動産関係的を絞り行動してみた。不動産業はやはりお客様商売の由、人当たりが良く話も聞いて頂く事ができた。今にも仕事があるような錯覚になることがある。後で分かったことだが、これはシルバー人材センターの情報聞きだしているに過ぎなかった。PRしたことだしそれもよしと思っている。何れも訪問先の選定には苦労があり頭の痛い所でもある。

「苦労様ですネ」の声には、一時の疲れも飛んでいく味賤があった。会員が一人でも多く仕事に就けるように、「また頑張ろう」の気持ちで開拓訪問を続けている。

「生きがい」とは、「熱中することが自分にある」と感じたことである。

## 就業開拓員になって

中部地区就業開拓専門員 松永卓美

今度八ヶ月という長期にわたる就業機会開拓専門員を引き受けた。その業務は企業を中心とした事業所訪問をして会員が出来る仕事を提供してもらうものである。

まず初仕事として実態を知ることであり現在の受注先の企業へ挨拶回りに行った。そこで事業主からは「親切でいねいで良く働いています」そして会員からは「働ける喜びを感じる」などの声が返って来た。高齢者である会員が事業所のスタッフの一員として頑張っている姿を見て、私自身が元気づけられ事業所訪問を開始した。

しかし社会経済の不況下訪問してまず感じたことは「押し売りお断り」の看板や呼び出しベルを何回押ししても応対してくれない事業所が多くありテレビCMの「入るかやめよか考え中」を地でいく体験もした。

「営業は断られた時に始まる」とよく云われるが、一度はよいが続けて断られるとやはり開拓業務に自信を失ってしまうこともある。ここで怯んではいけないと自分で自分にムチを打って事業所訪問をする。

そんな時「あつ市政だよりに載っているあれですか」と言って迎えてもらえたり、応接室でお茶まで出していただき世間話にまで発展する好意的な事業所も数多くあることも忘れてはいけない。

シルバー人材に理解を示していただき協力の話しも出てくるが仕事の受注となると話しは進まない。辛い苦しみも、楽しい思い出として一人でも多くの会員の就業機会が開拓されるように会員の一人としてこれからも頑張りたい。

## 就業開拓員になって

中部地区就業開拓専門員 谷口 要

シルバー人材センターについて指導を受け、次のシルバー売り込みの要点を頭に入れて会社訪問に踏切った。

- ①労働省の支援事業である。
  - ②公益法人の財団法人であるシルバーセンター
  - ③元氣さ、豊かな経験をもつシルバー
  - ④事故責任はシルバーセンターが持つ
  - ⑤電話一本ですぐに人材が動く
- 企業訪問してみても色々な問題にぶつかった。

①企業が要求していることと人材センターの考え方に違いがあること、労働時間、仕事の内容 ②テレビカメラの組み立て工場では、ラインにのつた先端技術の細かな部品の組立てで、目がよく見える会員がいますか、集中力、持続性がありますか、等等 ③仕事の時間延長と報酬 ④危険な仕事の範囲 ⑤力仕事は何kgまで、等色々な問題に即答出来ないことが就業にながらなかつたのではないかと反省している。しかし最初に良い成果があり、残暑厳しい中で汗をふきながら努力を続けました。

不況、リストラの中で人材を受け入れてくれる企業を相手にする場合一人ひとりの会員の力量、技術、人間性を知ると同時に、今シルバーがしなければならぬ仕事、生きがいを感じる仕事とは何かを研究分析する事が必要であると感じました。

小学校で教員をしていた時の相手の小さな世界と違ったこの現状を経験させていただき多くの事を学ぶ事が出来、感謝しています。

## 専門開拓員としての就業体験記

北部地区就業開拓専門員 武田浩一

私は本年一月から三月までの三ヶ月と八月から来年三月までの八ヶ月間行方事になりました。まず一月から三月までの体験記からお話しますと就業活動する場所について、お寺及び神社を取り上げ電話帳と住宅用地図を首引きに調査をし訪問する場所を明確にしました。

そこで事務所から取り揃えてもらった地図とパンフレットそして名刺を持ち訪問する事になりましたが、最初の一件目の玄関前で高鳴る鼓動を抑えながら訪問し、なんとか会えた時は喜びもひとしおでした。

それから二件目以降は度胸もつき何とかこなしていったわけですが、一番まごついた事はあらかじめ地番等調査していたのにも関わらず現地近くに行くととまどい、その近くを何回か廻って歩き、しまいはその日はダメでもう一度住宅地図を見直して訪問したものです。一月から三月まで訪問した経験では一度訪ねただけでは難しく再度訪問しなければ実績として発注までにはいかないのではないかと思います。この八月からは今までも行ってきた体験を生かし、まず住所地については住宅用地図を頼りに行う事としました。

今回はスーパーのカーットの整理及び自転車の整理の仕事及び銀行の自転車の整理と軽作業をお願いしたのですが時期が消費不況のためまた大手銀行の場合、合併によるリストラ問題で開拓としては非常に難しい状況でした。就業開拓で訪問した結果としてあまりシルバー人材センターの存在を知らない事と、企業自身で関連会社を作つてその中で行っているためシルバーが入る余地がない事を痛感しました。

しかし今後残り四ヶ月めげずに努力して実績をあげたいと思います。

## 就業開拓員になって

北部地区就業開拓専門員 千装知也

「こんにちは、お忙しいところおじゃまします。川崎市シルバー人材センターの者ですが」と言つて名刺を手渡し少々お時間を拝借する。パンフレット、チラシによつて訪問活動の主旨を説明する。

老人いこいの家、他公共施設、集合住宅の管理組合、自治会を中心に個人宅にもPRする。老人いこいの家の管理人さんは好意的で、今までに施設利用者の方から大工仕事、襖、障子の張り替え、植木の手入れ、家庭内サ―ビス等の紹介をしてほしいとの依頼があるので連絡して下さるとの事。パンフレット、チラシも玄関ホールに掲示してくれた。

今後の訪問活動に意気を感じ、見通しがつく事になった。

集合住宅の管理組合、自治会は管理事務所、管理人室を設けている所は管理人さん(管理会社派遣)に主旨説明し依頼するが好意的に受けてくれる所と、管理会社本部で総て処理手配するから本部に連絡してほしいと言う所がある(本部は担当地域外の東京、横浜に多い)。また理事会、役員会の決済が必要な所もある。管理人さんのいない所は直接理事長、会長宅を訪問した。今までは好意的に受けてもらえた。但し昼間は留守宅が多い。パンフレット、チラシを階段口の郵便受けに投稿してもらえればと要望する所もある。

色々な体験をした中で、過去にシルバー人材センターを利用した人からは、おおむね良い評価を得た一方でクレームもある。

仕事をお願いしても三々四ヶ月間待たされる。

又は仕事の現場をみて危険性が高いからと言つてキャンセルされた、など

今後に期待する建設的な助言をも併せ頂きました。

時期的に発注者が集中する技能関係の仕事について、今からでも登録会員希望者に技能資格修得講習会を開催して資格修得会員の確保が必要に思う受注と就業のバランス体制を考慮し新しいセンターづくり努力する時がきた様に思います。

## 就業開拓員になって

北部地区就業開拓専門員 長岡 修

開発活動の第一歩はかつて発注され、現在中断している企業の訪問であった。その訪問先はある企業の社員寮で管理人にSCから来たと挨拶した途端待つていたとばかりに植木の移植を頼まれた、さあ困った、返答が出来ない。パンフレットには植木の手入れはあるが移植はない。即答出来ない事を詫びたところ作業日の事もあるのでシルバー人材センター事務所に連絡するとの返事にホッすると共に勉強不足を知らされる思いだった。

この第一歩の体験からそれまで迷っていた開拓先の選定を不動産の清掃や管理企業を対象とすることにした。企業訪問で感じた事はシルバー人材センターの存在を知っている企業が少ない事、シルバー人材センターを知つていても仕事の種類については除草など部分的にしか知られていない。質問で多いのは単価と、単価表の要請も多い。

それから作業する人の年齢や面接と、作業の内容などである。



**会員親睦旅行**

苦情が多いのは頼んでもなかなか来てくれない。断われた経験があるなど。以上の事から開拓専門員としてPRの重要性を認識すると共に、依頼者に対応できる態勢や機動力を持つ事がシルバー人材センターの信頼や発展に繋がり、生活しやすい地域社会をつくるものと考えます。

**南部事務所**



**中部事務所**



**北部事務所**

**事務局通信**

平成11年度中にセンターで仕事をされた会員の方全員に「配分金支払証明書」を送付いたしますので、所得税の確定申告の際に使用してください。  
「配分金」の所得税法上の取扱については、左記のとおりとなります。

シルバー人材センターから支払われる配分金は、所得税法上「雑所得」となり、原則的に確定申告が必要になります。

ただし、平成11年度中の収入が配分金のみの場合、配分金額が103万円以下〔老年者

(注1)に該当する方は153万円以下〕の方は、税務署に確定申告する必要はありません。

また、平成11年中の収入が配分金と公的年金の場合、下の速算表で算出した公的年金の雑所得の額と、配分金から65万円(注2)を差し引いた額の合計額が103万円以下〔老年者に該当する方は153万円以下〕の方も、税務署に確定申告する必要はありません。

しかし、平成11年中に配分金と公的年金以外に他の収入がある場合は、税務署に確定申告する必要があるかどうかは計算しないとわかりませんので、最寄りの税務署にお尋ねください。

なお、配分金が103万円を超える方は、扶養親族・控除対象配偶者に該当しなくなりますので、ご注意ください。

(注1)昭和10年1月1日以前に生まれた方で、合計所得が1,000万円以下の方

〔平成11年分公的年金等に係る所得金額の速算表〕

受給者の生年月日	公的年金等の収入金額の合計額 A	公的年金等の雑所得の額
昭和10年1月2日以後に生まれた方	130万円未満	A - 700,000 (赤字は0)
	130万円以上 410万円未満	A × 0.75 - 375,000
	410万円以上 770万円未満	A × 0.85 - 785,000
	770万円以上	A × 0.95 - 1,555,000
昭和10年1月1日以前に生まれた方	260万円未満	A - 1,400,000 (赤字は0)
	260万円以上 460万円未満	A × 0.75 - 750,000
	460万円以上 820万円未満	A × 0.85 - 1,210,000
	820万円以上	A × 0.95 - 2,030,000

**問合わせ先**

- 川崎南税務署 ☎ 222-7531
- 川崎北税務署 ☎ 852-3221
- 川崎西税務署 ☎ 965-4911

※ 税務署確定申告の必要がない場合でも、住民税の申告が必要となる場合がありますので、その際は各区役所までお問い合わせください。

**会員のつどい**

★ 平成12年2月19日(土) ★ 場 所

開 場 午後1時  
開 演 午後1時30分  
エボックなかはら (南武線中原駅下車徒歩1分)

**内 容**

- 1. 式典(表彰式)
- 2. アトラクション  
漫談・司会: 林家のん平  
津軽三味線: 小山竜昇社中  
漫 才: おぼんこぼん
- 3. お楽しみ抽選会

